

関東東海北陸農業試験研究推進会議
 関東東海北陸水田作畑作・作業技術部会
 平成28年度 作業技術研究会 開催要領

部会長	農研機構 中央農業研究センター	生産体系研究領域長	大下泰生
副部会長	農研機構 次世代作物開発研究センター	稲研究領域長	山口誠之
副部会長	農研機構 農業技術革新工学研究センター	革新工学研究監	細川 寿

1. 趣旨

農業産出額が全国4位の千葉県では、ニンジンやイモ類を中心とする畑輪作が広く行われている。一方で、市場のニーズに応える形で果菜類などの園芸作物や花きの導入にも積極的で、産地規模拡大に向けて新たな栽培技術や省力化技術の導入が現在も進められている。

そこで、千葉県における野菜を基幹とする畑輪作農業を対象とし、作業技術面での課題を中心として現地検討と情報交換を行うとともに、課題解決に向けた研究の方向性を検討する。

2. 開催日時

平成28年12月1日（木）13時00分～12月2日（金）12時00分

3. 開催場所

丸朝園芸農業協同組合（千葉県山武郡芝山町山田1723）
 成田市商工会議所会議室（千葉県成田市花崎町736-62）

4. 検討内容

テーマ 「野菜を基幹とする畑輪作地帯の現状と展望 — 作業技術面からの考察」

1) 現地検討

- (1) 秋冬ニンジンの省力栽培技術（圃場視察）
- (2) 集荷から洗浄、梱包・出荷まで一元管理できる先進的集出荷施設
- (3) 丸朝園芸農業協同組合の現状と将来展望（丸朝農協担当者）
- (4) 地域で特徴的な作目の現場視察（※調整中）

2) 室内検討

- (1) 千葉県野菜産地の現状と技術的課題
 千葉県担い手支援課専門普及指導室 主任上席普及指導員 多田一夫
- (2) 地域の特徴的な作目の動向
 千葉県山武農業事務改良普及課 グループリーダー 若梅 均
- (3) ニンジンの新しい栽培技術
 千葉県農林総合研究センター水稲畑地園芸研究所
 上席研究員 高野幸成
- (4) 関連する地域戦略プロの紹介
 千葉県農林総合研究センター水稲畑地園芸研究所
 室長 草川知行

3) 各県からの要望事項

5. 参集範囲

関東東海北陸地域における公立試験研究機関、行政普及部局、生産者、農林水産省生産局、農林水産技術会議事務局、関東農政局、東海農政局、北陸農政局、農研機構の関係者、その他部会長が必要と認めた者

6. 連絡先

〒305-8666 茨城県つくば市観音台2-1-18

農研機構 中央農業研究センター 生産体系研究領域 深山大介

Tel : 029-838-8851 E-mail : dai@affrc.go.jp

※参加申し込み、資料提出等については、別紙2参照

【現地事務局】

千葉県農林総合研究センター 水稻畑地園芸研究所 草川知行

Tel : 0478-59-2200 E-mail : t.kskw@pref.chiba.lg.jp